

# 耐震未対策橋が多数

## 会計検査院が報告

会計検査院は、国会からの検査要請でこのほど公共土木施設などにおける地震・津波対策の実施状況等に関する会計検査の結果についての報告を行った。

検査対象は、国土交通省と農林水産省が整備した直轄事業又は補助事業(交付金事業を含む)。公共土木施設などにおける地震・津波対策の実施状況等について調査した。検査の結果、道路事業では災害発生直後から必要な救助、救急活動などに支障が生ずる可能性が見受けられたとしている。

社会資本整備総合交付金事業では、中間評価がほとんど実施されず、また実施された中間評価の中には、事業進捗状況などを明確に把握できないものもあり、全国的な緊急防災事業のような重要施策を同交付金事業で実施する場合は、国の進捗状況を的確に把握できず、全国的、緊急的な整備の計画的推進に支障を来すおそれを指摘している。

地震・津波対策に係る公共土木施設などの整備状況は昭和55年の道路橋示方書より古い基準が適用されている橋梁で耐震対策工事が実施されていない橋梁が緊急輸送道路の328路線で750の橋、地震発生時に被災のおそれのある、道路盛土、切土法面と斜面が緊急輸送道路の752路線で5598カ所見受けられ、地震発生時に緊急輸送が困難となり、指定拠点での応急復旧活動に支障が生ずる可能性があるとした。

また公表している緊急輸送道路ネットワーク計画が的確に見直しが行われておらず、高規格道路が反映されていないなど適切に改定されていない、緊急輸送道路ネットワーク計画のデータベースの保管場所などの耐震

用されている橋梁で耐震対策工事が実施されていない橋梁が緊急輸送道路の328路線で750の橋、地震発生時に被災のおそれのある、道路盛土、切土法面と斜面が緊急輸送道路の752路線で5598カ所見受けられ、地震発生時に緊急輸送が困難となり、指定拠点での応急復旧活動に支障が生ずる可能性があるとした。

# 3年累計553億円台に

九州地方整備局の過去3年(平成21~23年度)橋梁新設上部工事発注

3年累計総額が553.2億円に。発注機関20機

大隅河川国道14.7億円(6.9%)、大分河川国道9.9億円(4.6

円(11.9%)、北九州国道13.0億円(9.1%)、佐伯河川国道11.6億円(8.2%)、雲仙復興5.4億円(3.8%)など。


(11.0%)、鹿児島国道19.7億円(10.1%)、佐伯河川国道18.4億円(9.4%)、熊本河川国道18.2億円(9.3%)、八代河川

三井住友建設、6億円台のコーアツ工業、5億円台の日本乾漕工業など。

22年度が16億円台の清水建設、12億円台の日鉄トビーブリッジ、11億円

### 橋梁紀行

サボテ橋(フィリピン)



その際、右岸側の1スパンが破壊され、昨今、コンクリートにより修復が行われています。現在では交通形態の変化や交通量の増加に伴い、すぐ隣にコンクリートアーチ橋が架けられ、にぎやかな車や人の往来が目に見え、現在のフィリピンの活気を体感することができます。その横でサボテ橋は現役を引退し、当時の戦争の激しさやそれに関わる人々の感情を全て受け止め、その姿を現在に残しています。フィリピンの歴史の一部を垣間見せてくれます。(熊川クリスティナ・補修技術設計)

フィリピン、カヴィンテ州のサボテ川に架かるサボテ橋を紹介いたします。首都マニラと地方都市バコールをつなぐキリノ通りに架かる橋梁であり、石造の2連アーチ橋です。詳細は不明ですが、おそらくスペイン統治時代に架けられ、少なくとも120年以上は経過していると思います。サボテ橋はフィリピン独立革命において軍事的に重要な役割を果たしてきました。1897年に対スペイン、その2年後の1899年にはアメリカと革命軍の間で、サボテ橋の激しい争奪戦が行われました。

## 開催

橋建 最新技術を発表  
伊藤學賞は成田氏に



日本橋梁建設協会は10月12日、関東地区の橋梁技術発表会を東京の銀座プロッサムで開いた。

事業体	事務所	路線	工事名称	設計会社	千円
中国地整	岡山国道		岡南橋梁点検	エイト日本技術開発	44,200

み(一) 補強工 また は元建